いばらきネットモニター　茨城県議会の広報活動についてのアンケート結果

1　調査目的

茨城県議会では、より効果的な広報活動を行うため、住民ニーズの高い情報を把握し、より多くの住民の目に届くような広報媒体を取り入れ、また、広報活動が住民の議会参画へとつながるよう、情報発信力の強化に力を入れて取り組んでいます。

本アンケート調査は、茨城県議会の広報活動に対する認識、課題点や県の事業について興味・関心のある点などを把握することを目的として実施しました。

2　結果の概要

- 県議会の情報を目にする機会となる広報媒体については、「県議会だより」（64%）が最も多く、次いで「新聞」（12%）、「HP（ホームページ）」（10%）の順であった。
  特に、「県議会だより」は、回答者全体の半数を超えており、県議会の活動を知ってもらう上で、重要な広報媒体となっている。その一方、県議会の広報を「見たことがない」と回答した割合は 25%であった。
- 県議会をより多くの方に知ってもらうために、今後力を入れていくべき媒体については、「SNS」（49%）が最も多く、次いで「県議会だより」（22%）、「HP」（13%）の順であった。その他の意見として、YouTube などを活用した動画配信が有効であるという意見が多かった。
- 県議会 HP について、必要な情報を得ることができると回答した人は、「とてもそう思う」（5 %）、「そう思う」（33%）を合わせて 38%となった。一方、HP のデザイン、レイアウトについては、「シンプルで見やすい」（33%）が最も多かったが、その他として、「専門用語」が難しいといった意見があり、県民により分かりやすく、必要な情報を得やすいホームページとしていくことが求められる。
- 今回のアンケート結果を踏まえ、県議会だよりや HP などの既存の広報媒体を活用するとともに、SNS や動画配信など、より多くの住民に届く情報発信を行い、県議会の活動をより分かりやすく伝えていく必要がある。

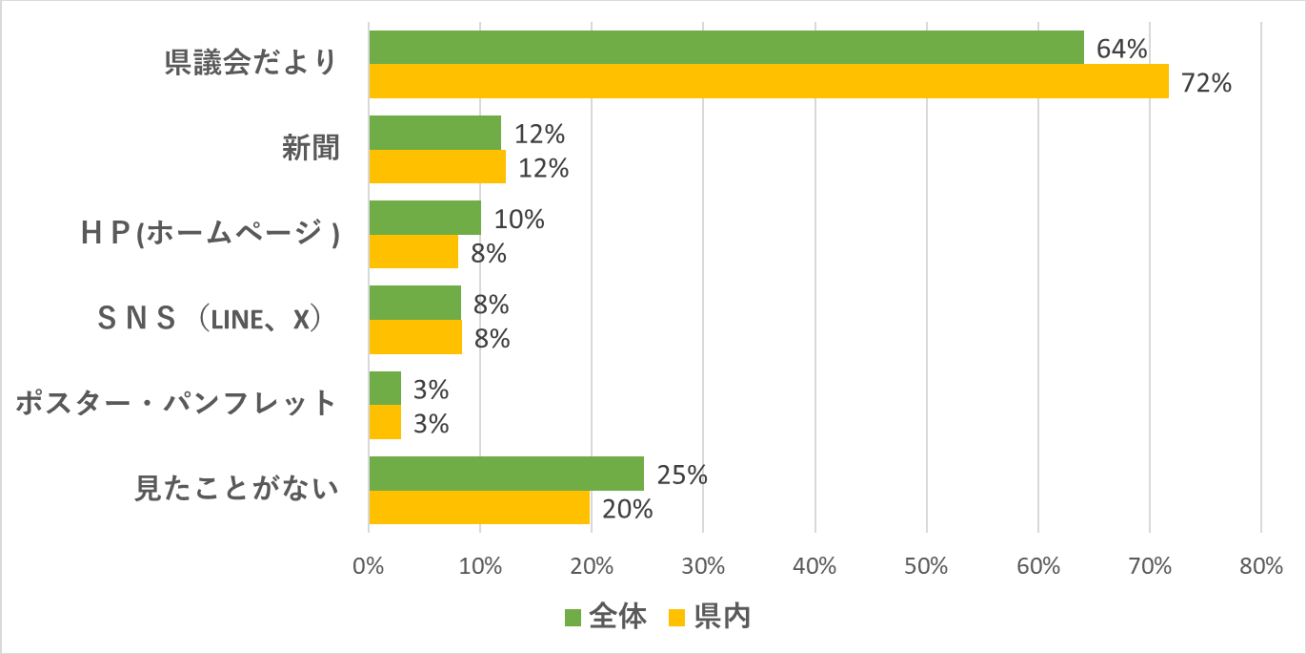
【問１】（議会広報について）

茨城県議会では、様々な媒体で県議会の活動に関する情報を発信しています。

あなたは、県議会について、どのような媒体で目にしますか。

次の中から、あてはまるものを全て選んでください。

（全体 n=1,150、県民のみ n＝970）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。

複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

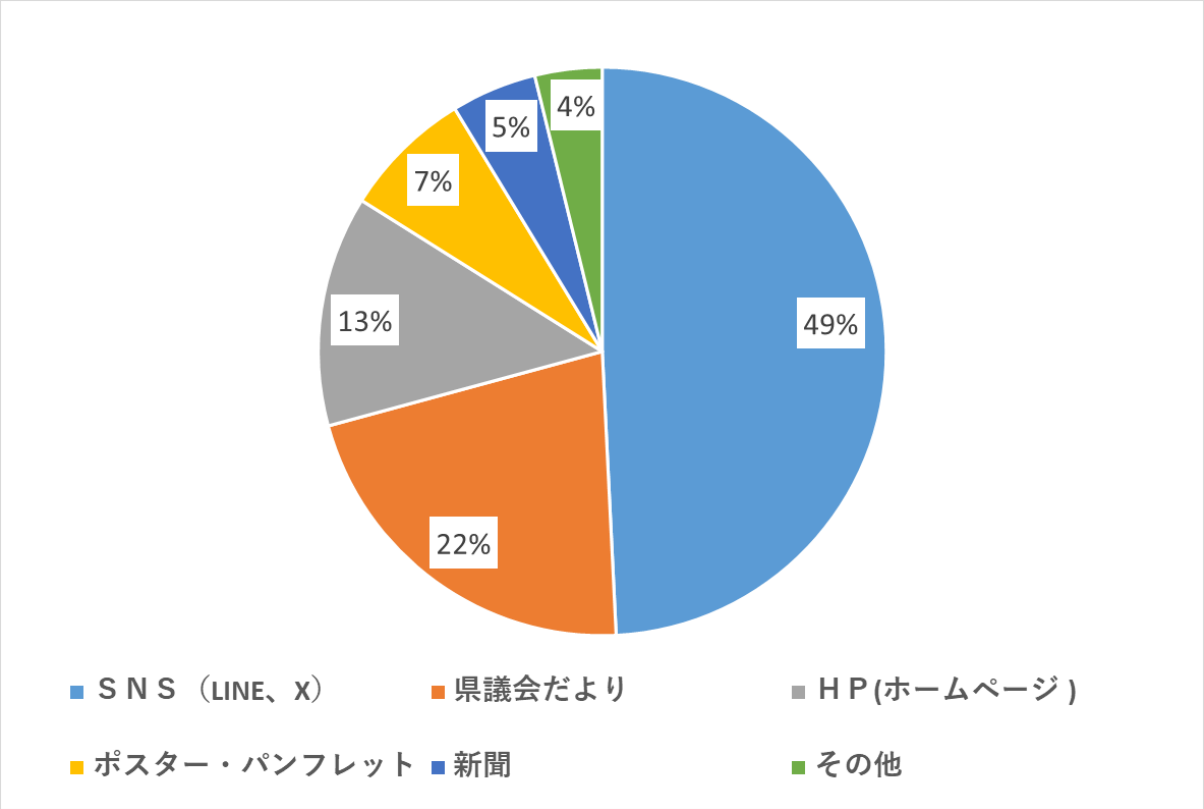
○　県議会の活動を目にする機会となる広報媒体については、「県議会だより」（64%）が最も多く、次いで「新聞」（12%）、「HP」（10%）、「SNS」（８%）の順であった。

○　一方、県議会の広報を「見たことがない」と回答した割合は 25%であった。

【問２】（今後力をいれるべき広報媒体）

県議会をより多くの方に知ってもらうためには、あなたは今後、どの媒体に力を入れていくと効果的だと思いますか。次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

（n=1,150）



○　今後力をいれていくべき県議会の広報媒体については、「SNS」（49%）が最も多く、次いで「県議会だより」（22%）、「HP」（13%）の順であった。

○　「その他」（４%）として、次のような意見が挙げられた。（計 44 件）

・YouTube の動画配信

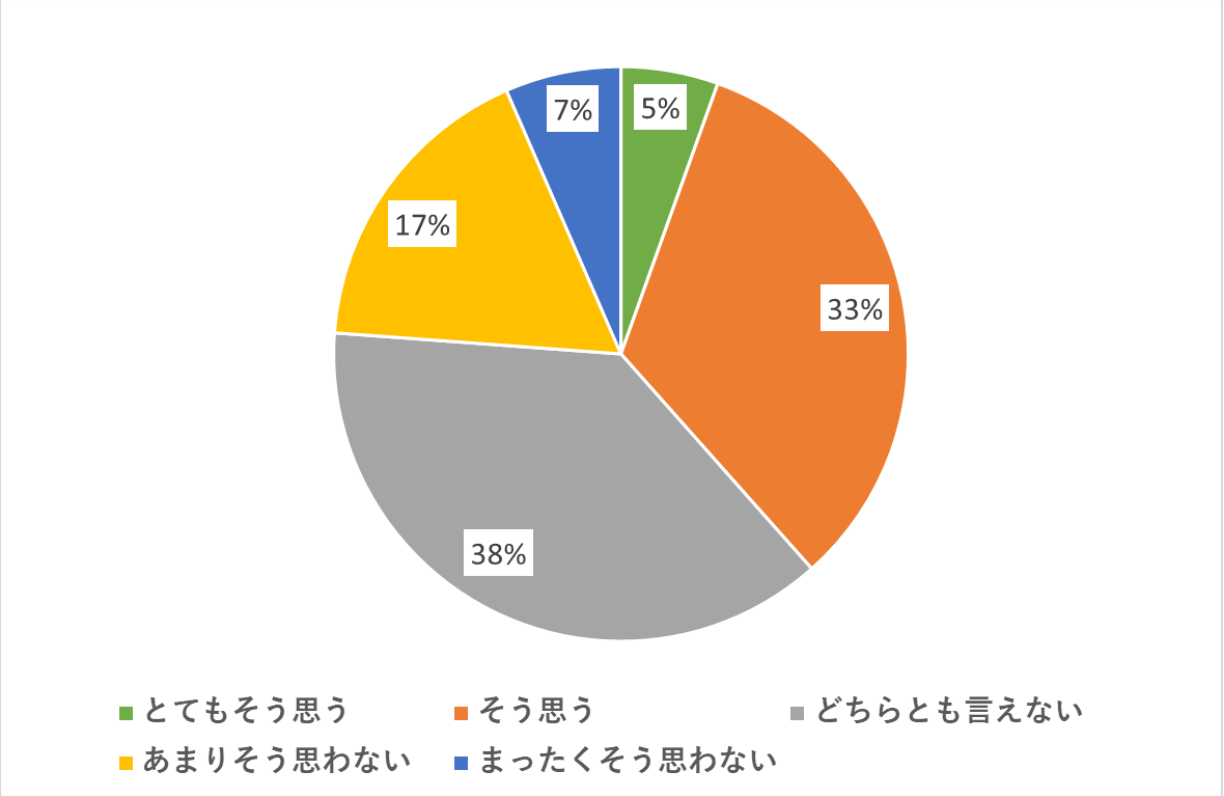
・テレビ・ラジオなどでの放送

【問３】（県議会ＨＰについて）

あなたは、以下の県議会ＨＰを見て必要な情報を得ることができると思いましたか。

次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

（n=1,150）



○　県議会 HP について、必要な情報を得ることができると回答した人は、「とてもそう思う」（５％）、「そう思う」（33%）と合わせて、38%（442 人）が必要な情報を得ることができると回答した。

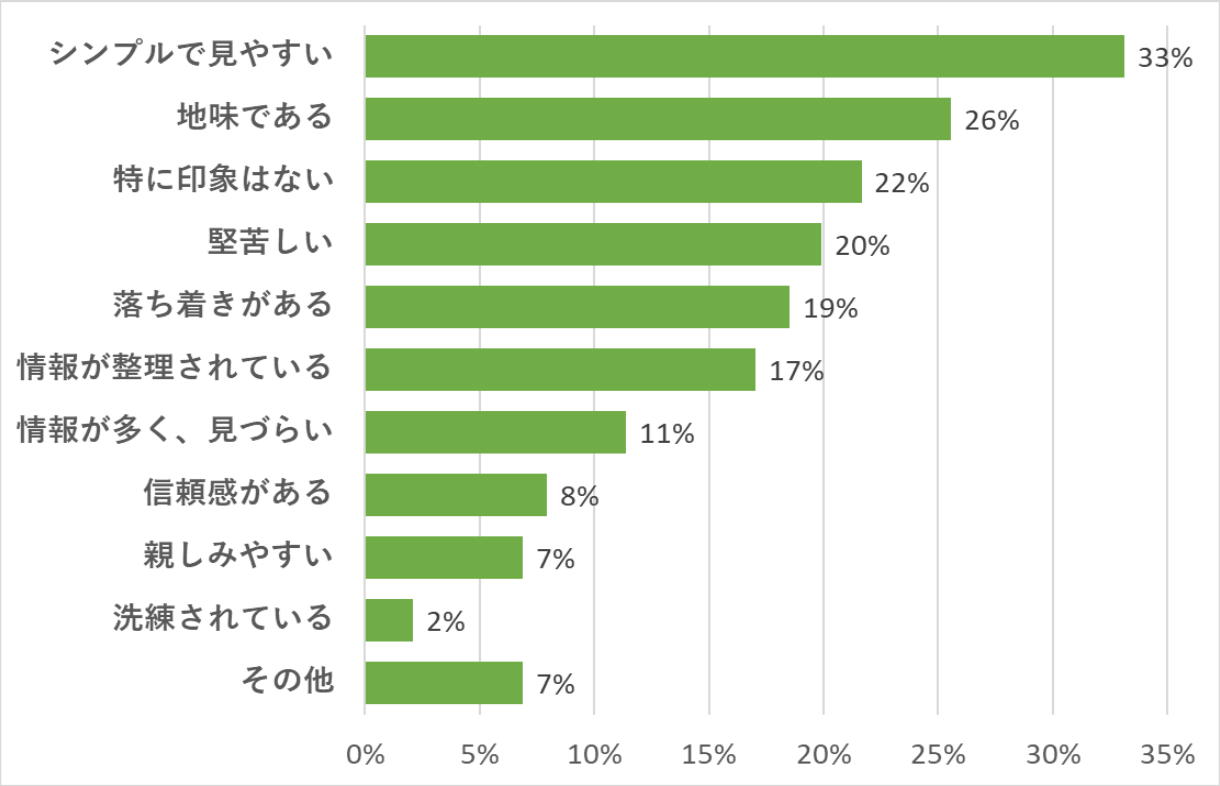
○　一方で、「あまりそう思わない」（17%）、「まったくそう思わない」（７％）であった。

【問４】（県議会ＨＰのデザイン、レイアウトへの印象）

あなたは、県議会 HP のデザイン、レイアウトに対してどのような印象を持ちましたか。

次の中から、あてはまるものを最大３つまで選んでください。

（n=1,150）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。

複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

○ 県議会 HP のデザイン、レイアウトについては、「シンプルで見やすい」が 33%と最も多かった一方で、「地味である」が 26%、「特に印象はない」が 22%、「堅苦しい」が 20%となった。

○ 「その他」（７%）として、次のような意見が挙げられた。（計 79 件）

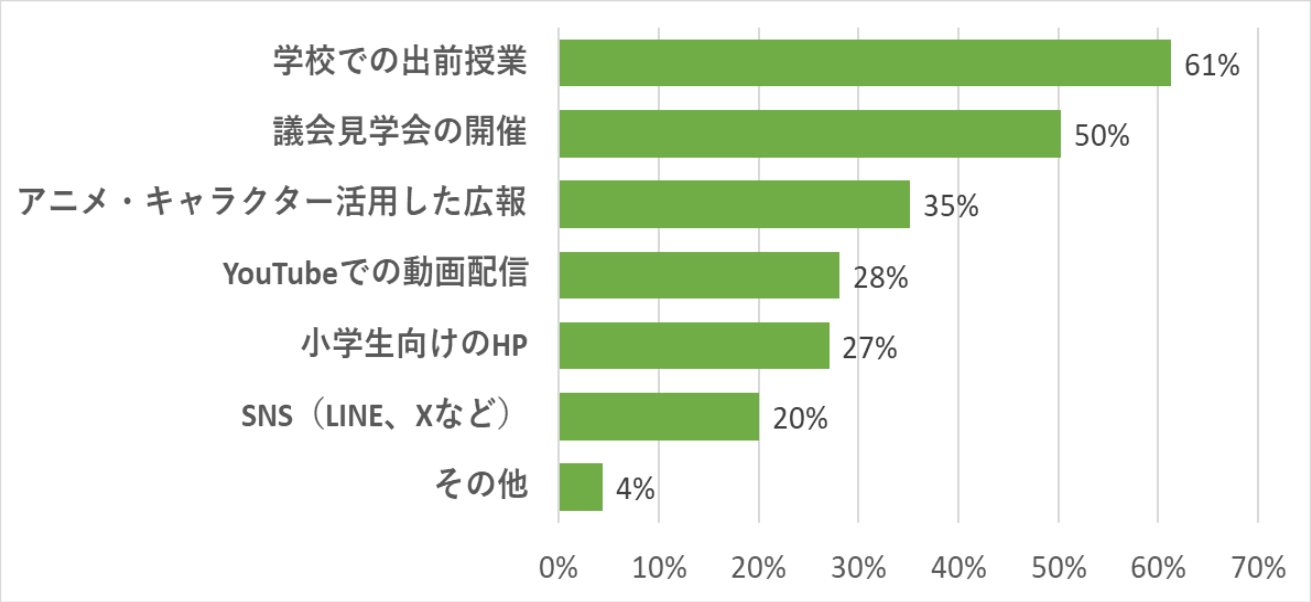
・議会活動に関する情報が多く、有益である

・専門用語が難しい

【問５】（小学生の年齢層への主権者教育）

小学生の年齢層に県議会に関心をもってもらうためには、あなたはどのような取り組みが効果的だと思いますか。次の中から、あてはまるものを最大３つまで選んでください。

（n=1,150）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。
複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

○　小学生の年齢層への主権者教育については、「学校での出前講座」（61%）が最も多く、「議会見学会の開催」（50%）、「アニメ・キャラクターを活用した広報」（35%）、「YouTubeでの動画配信」（28%）の順であった。

○　「その他」（４%）として、次のような意見が挙げられた。（計 50 件）

・小学生による模擬議会の開催

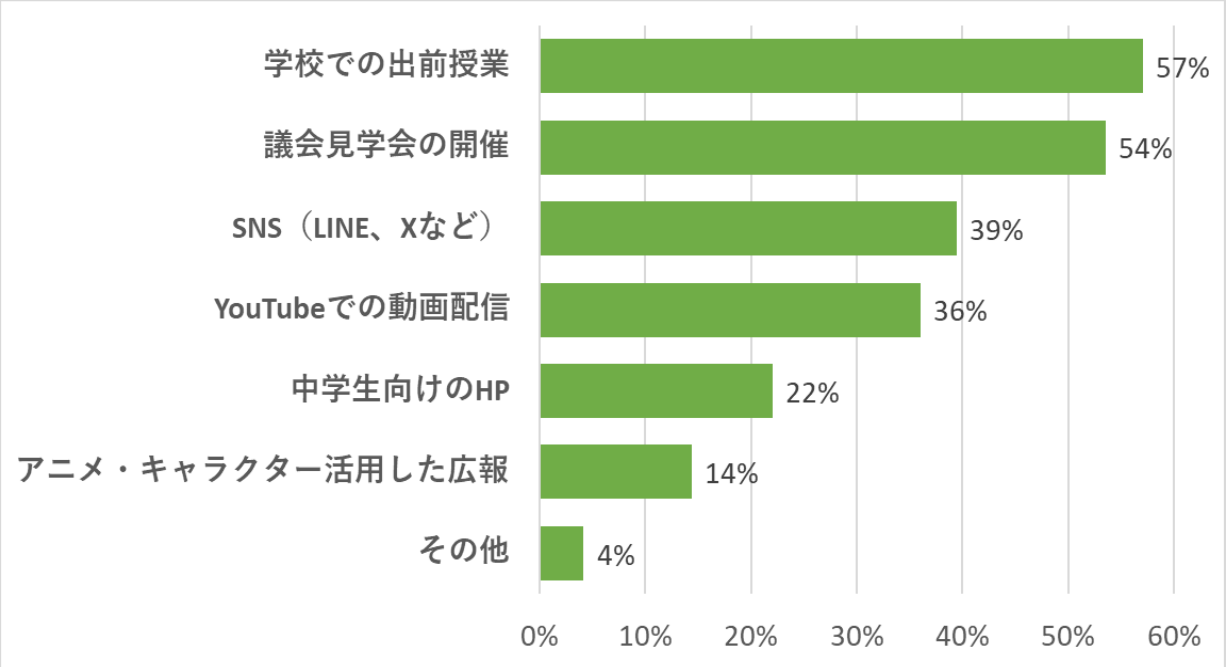
・議会紹介動画の視聴

【問６】（中学生から高校生の年齢層への主権者教育）

中学生から高校生の年齢層に県議会に関心をもってもらうためには、あなたはどのような取り組みが効果的だと思いますか。

次の中から、あてはまるものを最大３つまで選んでください。

（n=1,150）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。

複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

○　中学生から高校生の年齢層への主権者教育については、「学校での出前講座」（57%）が最も多く、「議会見学会の開催」（54%）、「SNS（LINE、X など）」（39%）、「YouTube での動画配信」（36%）の順であった。

○　「その他」（４%）として、次のような意見が挙げられた。（計 48 件）

・中学生、高校生による模擬議会

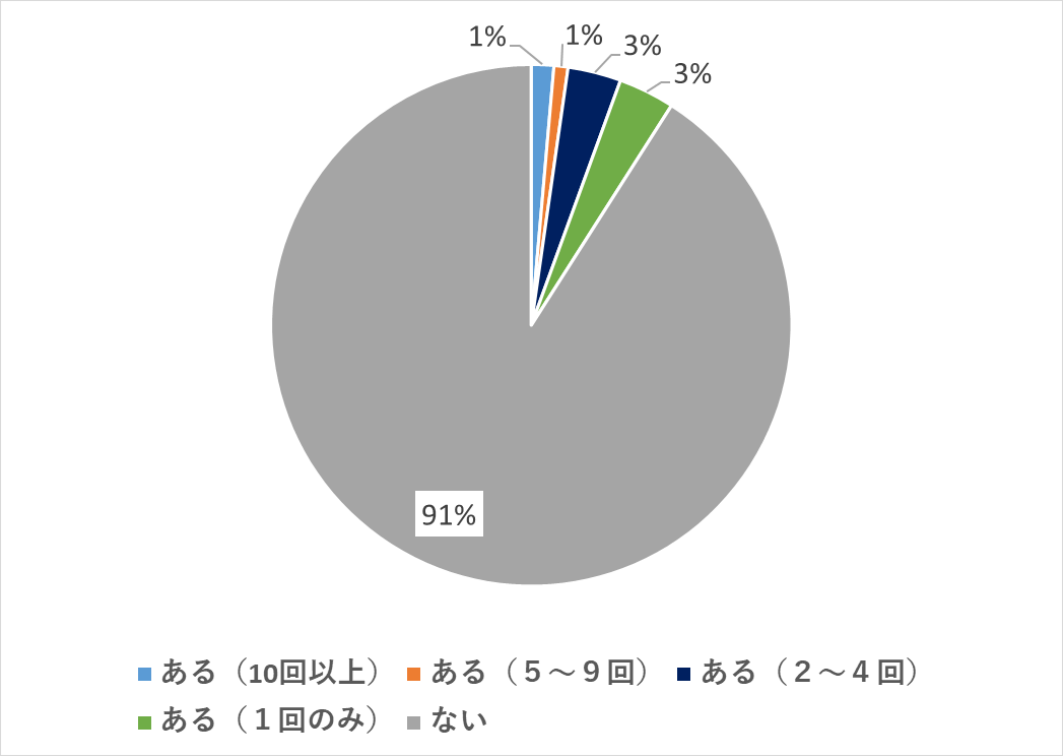
・議員の職業体験

【問７】（議会傍聴について）

あなたは、県議会を傍聴（オンライン視聴を含む）したことはありますか。

次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

（n=1,150）



○ 県議会を傍聴したことがあるかについては、「ある（10 回以上）」（１％）、「ある（5～9 回）」（１％）、「ある（２～４回）」（３％）、「ある（１回のみ）」（３％）と、１回以上見たことがある人は、合わせて 9％（104 人）であった。

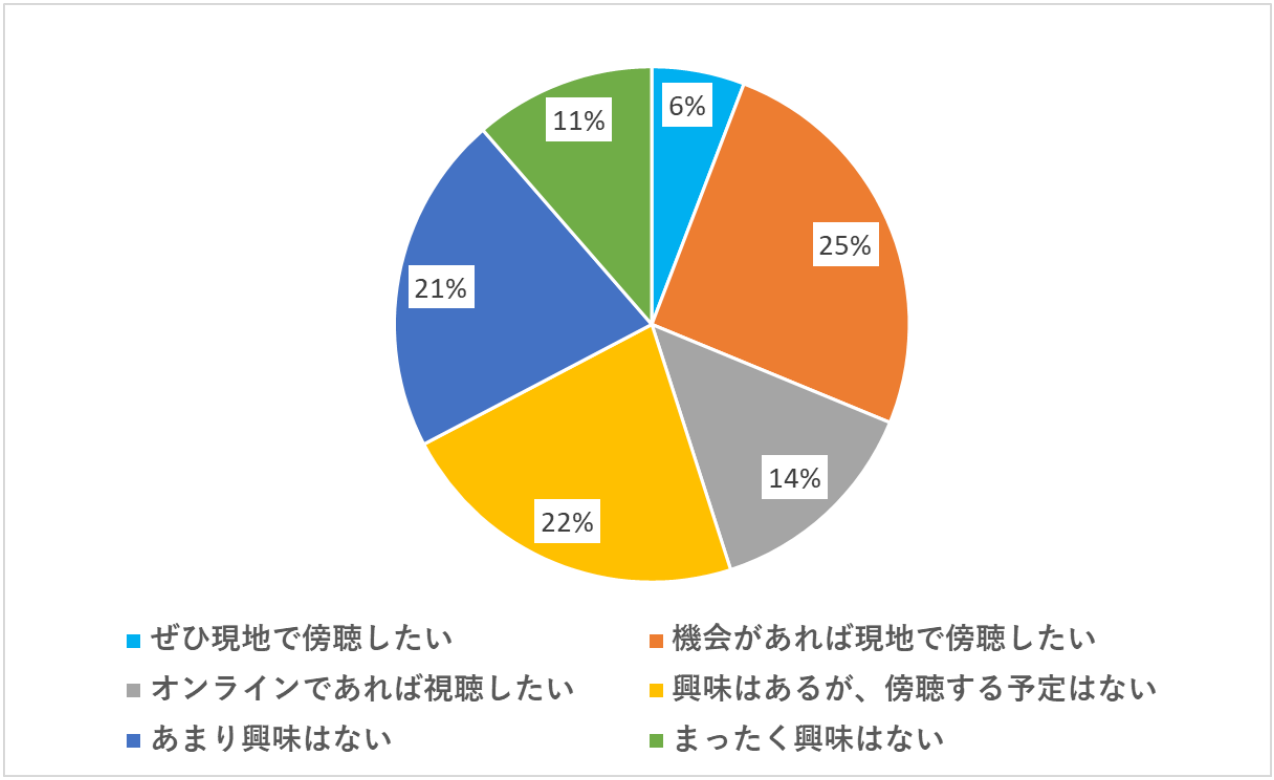
○ 一方、「ない」（91％）と回答した割合が多数であった。

【問８】（議会傍聴への興味・関心）

あなたは、議会傍聴に行きたいと思いますか。

次の中から、あてはまるものを１つ選んでください。

（n=1,150）



○　議会傍聴への興味・関心については、「ぜひ現地で傍聴したい」（６％）、「機会があれば現地で傍聴したい」（25％）、「オンラインであれば視聴したい」（14％）と合わせて、45％（518 人）は傍聴したいと回答した。

○　「興味はあるが、傍聴する予定はない」（22％）まで含めると 67％（774 人）は議会への傍聴に興味・関心はあるという回答であった。

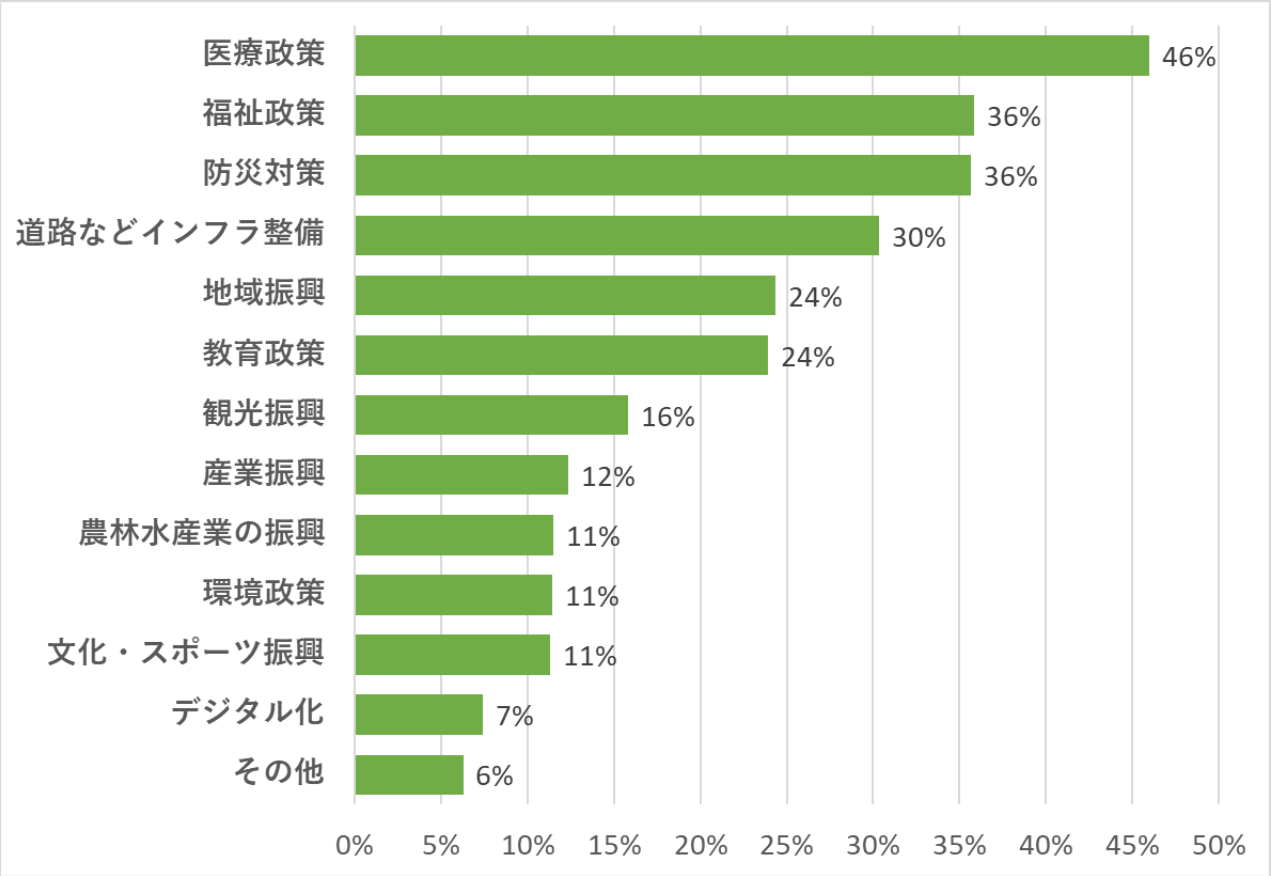
○　一方、「あまり興味はない」（21％）、「まったく興味はない」（11％）と回答した割合は、33％（376 人）であった。

【問９】（県の取り組みに対する興味・関心）

県の取り組みについて、あなたはどのようなことに関心がありますか。

次の中から、あてはまるものを最大３つまで選んでください。

（n=1,150）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。

複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

○　県の取り組みに対する興味・関心については、「医療政策」（46%）が最も多く、「福祉政策」（36%）、「防災対策」（36%）、「道路などインフラ整備」（30%）の順であった。

○　「その他」（６%）として、次のような意見が挙げられた。（計 72 件）

・外国人政策

・交通政策

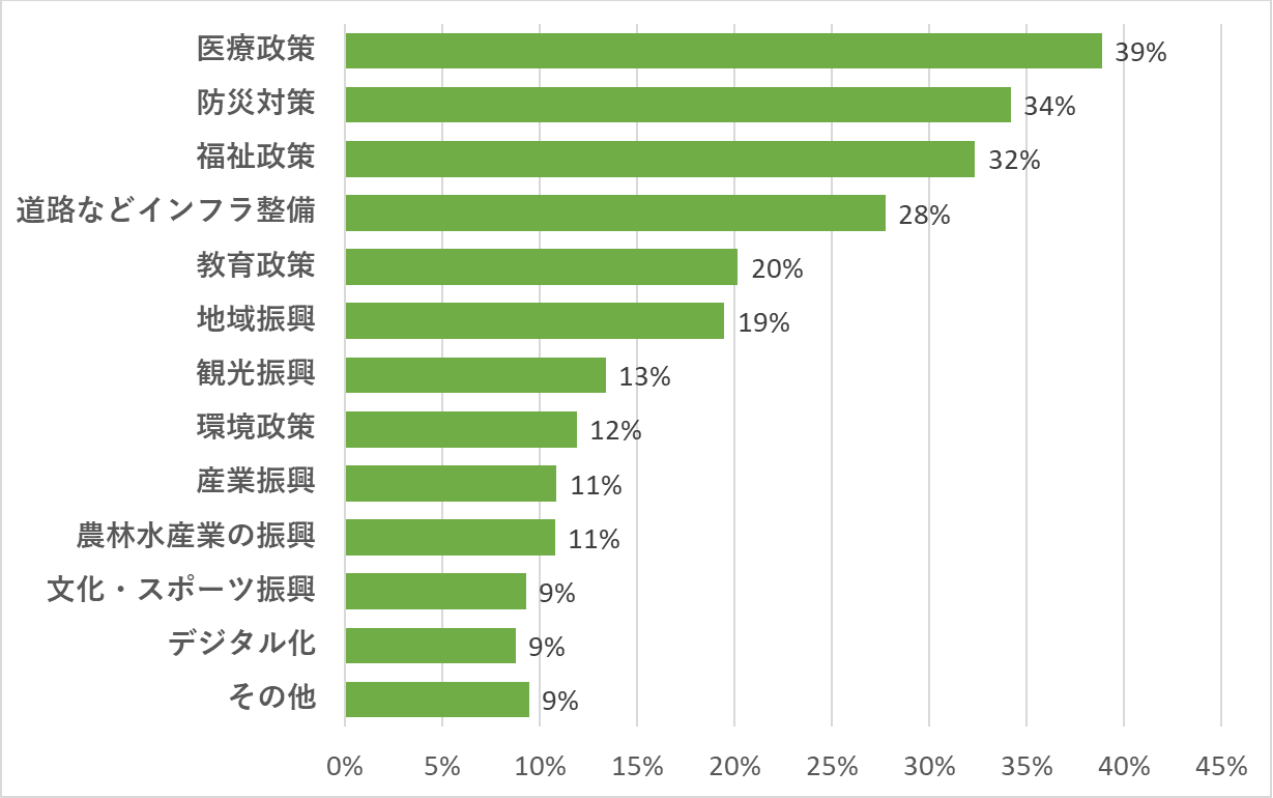
・雇用の確保

【問 10】（県議会で取り上げてほしいテーマ）

あなたが、県議会で取り上げて欲しいテーマはありますか。

次の中から、あてはまるものを最大３つまで選んでください。

（n=1,150）



※回答者の人数（1,150 人）を母数として算出。

複数回答可のため、各項目の割合の合計は 100%とならない。

○　県議会で取り上げてほしいテーマについては、「医療政策」（39%）が最も多く、「防災対策」（34%）、「福祉政策」（32%）、「道路などインフラ整備」（28%）の順であった。

○　「その他（９%）」として、次のような意見が挙げられた。（計 109 件）

・外国人政策

・犯罪抑止対策

・交通政策

3　アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

・本アンケート結果を踏まえ、県議会の HP については、見やすさや情報の分かりやすさを維持しながら、県議会への関心を高められるよう、デザインの見直しを進めていく。
・また、中学生・高校生など、若い世代に対して、県議会の役割や仕組みを分かりやすく伝える取り組みにも活用していく。

4　調査の概要

（1）調査形態

調 査 時 期：2026 年 8 月 3 日 ～ 2026 年 8 月 16 日
調 査 方 法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答
モ ニ タ ー 数：1,651 名
回　収　率：69.7%
回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（%）
全体（n）		1,150	100.0
地域別	県北	94	8.2
	県央	368	32.0
	鹿行	67	5.8
	県南	359	31.2
	県西	82	7.1
	県外	180	15.7
性別	男性	496	43.1
	女性	641	55.7
	回答しない	13	1.1
年齢別	16～19 歳	6	0.5
	20～29 歳	40	3.5
	30～39 歳	143	12.4
	40～49 歳	262	22.8
	50～59 歳	334	29.0
	60～69 歳	233	20.3
	70 歳以上	132	11.5
職業別	自営業	84	7.3
	会社員	437	38.0
	団体職員	52	4.5
	公務員	59	5.1
	主婦・主夫	230	20.0
	学生	16	1.4
	無職	145	12.6
	その他	127	11.0

（２）担当課

茨城県議会事務局政務調査課

電話：029-301-5646　　E-mail：gikai@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第２位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。